

クラウド導入への道のりを最適化する7つの戦略

SoftwareOneは、お客様一人一人のビジネス目標に基づいて、最善のクラウドジャーニーを設計いたします。

2-4年

ほとんどの中堅企業は僅か2~4年前に変革を開始

『2023 Cloud Outlook』 SoftwareOne 2023年

72%

CIOの72%が技術的負債が原因でデジタルトランスフォーメーションが遅れたと回答

『2023 CIO Pulse』 SoftwareOne 2023年

28%

企業が無駄だと考えているクラウド支出額の割合

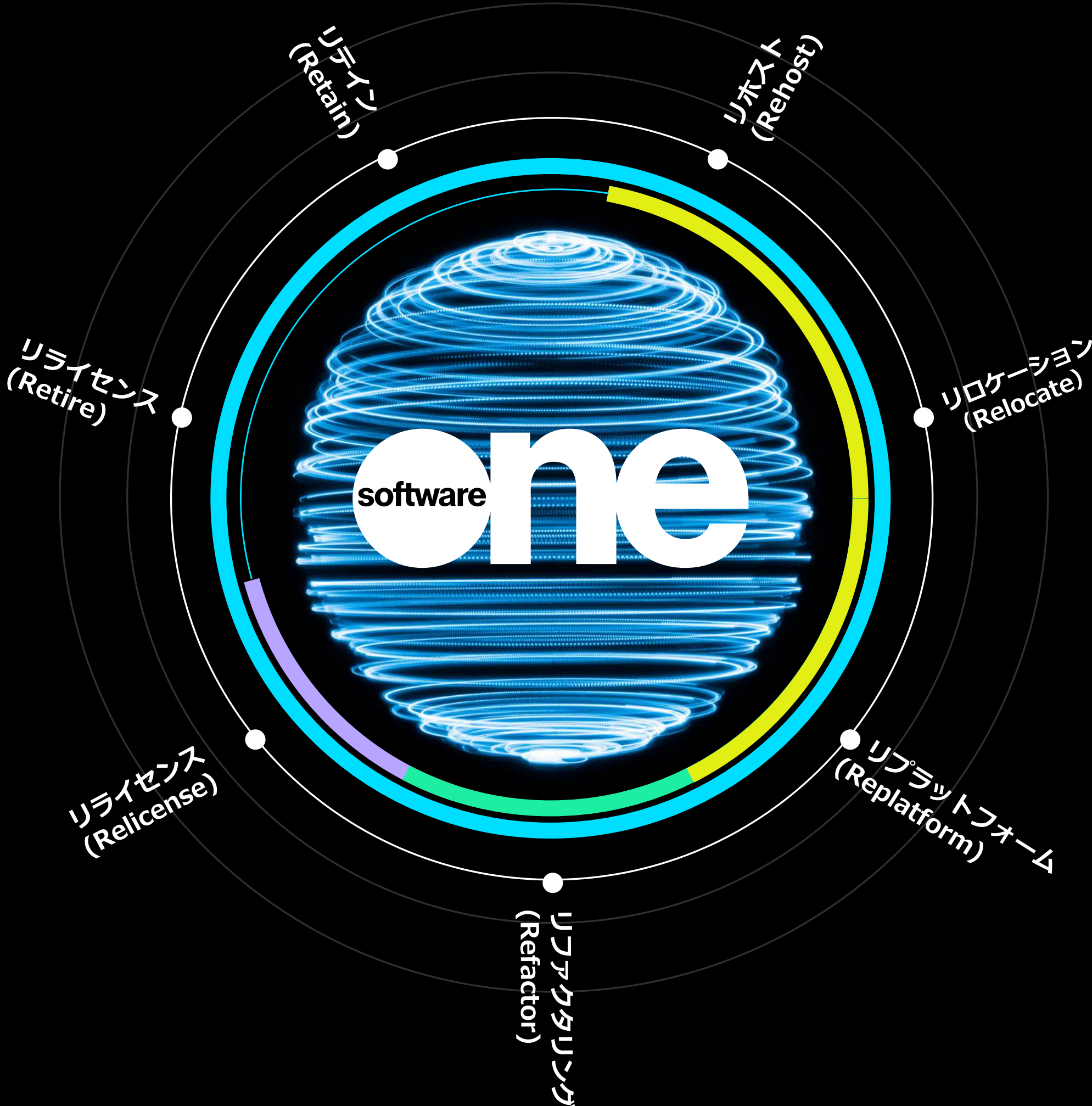
『State of the Cloud Report』 Flexera社 2023年

クラウド化への旅を始めましょう。
クラウド導入には様々な方法があります

クラウドへの移行とモダン化に決まった型はありません。

SoftwareOneのカスタマイズされた成果重視のアプローチの一環として、これらの「7つのR」はクラウドへの移行をインテリジェントに計画するための道筋をご提供いたします。SoftwareOneの総合的なエンドツーエンドのサービスにより、お客様は、クラウド戦略がお客様固有のニーズに適合していることを確信し、クラウド投資を効果的に行う事が出来ます。

- 1. 移行する**
スピード感を持ってクラウドへ
- 2. モダン化する**
長期的な価値を得るために
- 3. 購入する**
必要な物を無駄なく
- 4. 最適化する**
ビジネスにおける成果を



リホスト (Rehost)

リホスト (リフト&シフト) は、物理上のアプリケーションをクラウド上の仮想マシンに移行します。この方法では、基本的なコードに大きな変更を加える必要はほとんどありませんが、アプリケーションにはオンプレミスと同じ制約が多く発生します。とはいえ、クラウドへの移行を急ぐ企業にとっては、良い選択肢となり得るでしょう。

リロケーション (Relocate)

これは、大量のサーバーをオンプレミスのプラットフォームからそのプラットフォームのクラウドに移行することをいいます。リロケーションは迅速で、アーキテクチャやコードの変更も必要ありません。

リプラットフォーム (Replatform)

これは単純に、ある程度最適化されたアプリケーションをクラウドに移行することを意味します。主にシンプルなアプリケーションで行われますが、中間的なステップとしても行われます。このアプローチでは、仮想マシンとは対照的に、共有プラットフォーム上でアプリケーションをホスティングすることで、コストを削減することができます。

リファクタリング (Refactor)

これは、アプリケーションをクラウドに適したものにすることで、その構造を再構築し、変更を加えることです。例えば、クラウドサービスを利用するためにアプリケーションを更新したり、マイクロサービスをまとめて完全に作り直したりします。

リライセンス (Relicense)

アプリケーションの維持、置き換え、または移行を行う際に、オンプレミスとクラウドの資産全体でライセンスングのアプローチを最適化します。ライセンスングのコスト削減は、クラウドコストの急上昇をコントロールすべく、クラウド変革への再投資に有利な順序で行うことができます。

リテイン (Retain)

現在のオンプレミス環境で快適に機能するアプリケーションや業務システムは、リテイン (保持) することができます。このオプションは、極めて規制の厳しい業務システムである場合や、移行することにビジネス上の価値がほとんどない場合に適しています。

リタイヤ (Retire)

古くなったり、ビジネスそのものが変化したりしたために、もはやビジネス上の必要性を果たさなくなったアプリケーションは、リタイヤ (廃止) することができます。

確信を持ってクラウド導入するには

お客様がクラウドへの移行を検討中でも、すでに開始している場合でも、SoftwareOneは、各業界に対する深いノウハウ、市場をリードするツールと自動化、柔軟なエンドツーエンドのサービス、主要なクラウドプロバイダーとの強力なパートナーシップを活用して、お客様のクラウド移行を最適化致します。

お問い合わせ

SoftwareONE Japan株式会社
電話番号: 03-5369-0140
Eメール: info.jp@softwareone.com
www.softwareone.com/ja-jp/

Copyright © 2023 by SoftwareOne AG. All Rights Reserved. SoftwareOneは、SoftwareOne AG の登録商標です。記載されているその他のすべての商標、サービスマーク、商号は、該当する各社が所有しています。当コンテンツは、弊社の知る限り限りの情報を基に細心の注意を払って作成されています。ただし、SoftwareOneはその最新性、完全性、または正確性について責任を負うものではありません。